

赤十字

赤十字の人道活動は皆様方の
日本赤十字社活動支援費(日赤社費)で行われています
ご協力をお願いします

NEWS in 徳島

ニュース

第29号

平成25年7月
発行

発行所 日本赤十字社徳島県支部
〒770-0044 徳島市庄町三丁目12番地1
TEL 088-631-6000
FAX 088-631-6100
URL <http://www2.tcn.ne.jp/~jrcawa1/>



お友達を助けて、僕も将来立派なヒーローになるぞ！

渦戦士エディーと学ぶ 赤十字救急法

日本赤十字社では5月が赤十字の創設者「アンリー・デュナン」生誕の月であり、また日本赤十字社の創立月と、赤十字にゆかりのある月であることから『赤十字運動月間』と定め、全国各地で赤十字活動の普及・啓発を行っています。

5月19日、県民の集うゆめタウン徳島にやってきましたエディーは、悪者によって心肺停止に陥った女性を助けるため、赤十字救急法を実践しました。エディーを応援する小さなヒーローたちは、「エディー、頑張れー！」と元気なパワーを送り、女性は見事蘇生しました。

徳島県支部では、渦(エddy)のパワーから生まれた正義のヒーロー『渦戦士エディー』とタッグを組み、赤十字を

エディーのようになりたいと、赤十字救急法指導員にAEDの使い方を教わる小さなヒーローからは、「AEDは必殺の武器みたいでかっこいい。僕もこれで皆さんの人を助け

たい。」と、将来立派なヒーローになる夢を語ってくれました。また、ヤングママからは、「子どもの身体のことはいつも心配。息子と一緒に救急法を学ぶことができてよかった。」と満足そうでした。

日本赤十字社徳島県支部では

- +++ 救急法講習(とっさの時の救命・応急手当)
- +++ 幼児安全法講習(子どもの救命手当等)
- +++ 水上安全法講習(溺れた人の救助方法等)
- +++ 健康生活支援講習

(健康増進の知識や高齢者の支援方法等)

という講習を随時開催し、「人の命を守る」という人道を、具体的な知識あるいは技術として広く県民に普及しています。講習内容や日程については、当支部のホームページをご覧ください。



赤十字救急法で徳島の平和はオレが守る！

エディーと学ぼう！ 赤十字救急法



赤十字救護班 吉野川水防演習の「役を担う！」

「超大型台風が日本に接近し、吉野川流域が大洪水になる恐れがあります・・・」という状況を、徳島県民は心の片隅に常に置き、これから迎える夏に備えなければなりません。

5月12日、まるで夏のような天候の中、三好市で吉野川水防演習が行われました。

演習では、救助され次々と救護所に運ばれてくる負傷者に、治療の優先順位を決めるトリアージを赤十字の救護員が迅速に実施し、的確に応急手当を行いました。

演習を終えた救護員からは「災害現場という特殊な状況だからこそ、普段、病院で働いているときには気付かない問題点に気付くことができる。今後も訓練を積み重ね、大災害に備えたい。」と力強く語ってくれました。



傷病者の不安な心を落ち着かせられる救護所で在りたいです。

非常食にも彩を こころあたたまる炊き出しメニュー

去る1月10日、徳島県支部で「災害時炊き出しメニュー」コンテストを開催しました。

東日本大震災発災後、多くのボランティア団体が炊き出し支援を行い、被災者のお腹も心もあたためてきました。しかし、毎日同じ食事では、楽しいはずの食事飽きがきてしまいます。

そこで徳島県支部では、災害用炊飯袋（ハイゼックス）を使用し、地元の特産品や災害時にでも容易に手に入る食材を使った『愛デア』溢れるメニューを、県内5地区の赤十字奉仕団に考案いただきました。



災害時にはこころも体もあたたまってほしい

出品されたメニューは冊子として取りまとめる予定です。災害時には、中・長期的な食の支援に役立てていただくとともに、日頃の災害訓練にもぜひ活用してください。



青少年赤十字(JRC)高校生メンバー が『赤十字ゆかりの地』を清掃

第一次世界大戦時、日本軍はドイツ領青島（中国）で多くのドイツ兵を捕虜にし、その待遇は良いものではありませんでしたが、鳴門市で運営された板東俘虜収容所では、捕虜が村人と交流するなど人道的な施設運営が行われていました。

現在、「赤十字ゆかりの地」に指定させていただいているかつての収容所跡地（鳴門市ドイツ村公園）で、2月の澄み渡った青空の下、徳島県高等学校青少年赤十字協議会のメンバー23名が清掃活動を行いました。

事前に板東俘虜収容所について勉強したメンバーは、古から引き継がれたボランティア精神を存分に発揮し、手がどろどろになるまで草むしりをするなど、積極的に取り組んでいました。

参加したメンバーからは、「清掃場所の歴史を知ること、掃除に取り組む意識が変わりました」と、活動することの喜びを伝えてくれました。



モニュメントを拭き掃除するJRC部員。赤十字精神は、ここに引き継がれています。

あなたの体、元気ですかーっ!!

去る5月8日、徳島赤十字ひのめね総合療育センターで、「看護の心をみんなの心に」を合言葉に、心も体も楽しく健康になるためのイベントを実施しました。

当日は、活力年齢や体組成計で体の健康チェックを行ったほか、本格的な雰囲気味わう、お茶席『ひのめね庵』で抹茶をいただきました。

さらに、一番の盛り上がりを見せた、職員による野外コンサートでは、ファン（利用児者）が旗を片手に声援を送って会場を盛り上げ、心も体も健康になりました。延べ567名の方々にご来場いただきました本イベントは、盛況のうちに終わることができました。



「おいしい?」「うん、もう一杯ちょうだい」

患者さまの心を和ませて

徳島ゆかりの画家の作品が、徳島赤十字病院へ寄贈されました

徳島ゆかりの画家 石野安親氏の絵画が、ご子息の石野泰之様から徳島赤十字病院へ寄贈されました。

絵画のタイトルは「文楽人形」。あでやかな着物を着た男女の人形が描かれており、2年前に徳島市内で開催された安親氏・泰之氏の親子展にも出品された作品です。

東京都出身の石野安親氏は、昭和初期に名西高等女学校（現名西高等学校）の美術教諭も勤められた経験があり、生前親交のあった徳島県赤十字有功会員の美馬準一様のご仲介により今回寄贈されました。

3月29日に行われた贈呈式で泰之様は、「人形浄瑠璃は徳島の伝統芸能。作品も群馬からこの土地に帰ってこられて、喜んでいえると思います。」と話していました。

作品は病院棟2階のエレベーター前に展示され、病院を訪れる人々の心を和ませています。



絵画を仲介いただいた美馬準一様（左）と贈呈いただいた石野泰之様（左から2番目）

シリーズ 徳島赤十字病院

第5回放射線科

最新「320列CT」装置について

放射線科部長 城野 良三

2012年1月に導入されたAquilion ONE：東芝メディカルシステムズ社製Computed Tomography (CT) は、0.5mm幅の検出器が320列搭載されており、1回転で最大160mmの範囲を非常に細かいところまで撮影できるのが最大の特徴です。これにより特殊な場合を除き、心臓を1回転（最短0・35秒）で撮影可能



図1 320列CT装置図

となり、動いている心臓の血管（冠動脈）の画像を鮮明かつ立体的に写すことで、狭心症や心筋梗塞などの診断向上に役立っています。また高い心拍数で心臓の動きが速い人や、不整脈などで心臓の動きの予測が難しい人でも対応可能となりました。さらに、最短0・35秒で撮影が行えるため、従来のCTと比べて被ばく線量も減らすことができ、より負担の少ない検査を実施することができま



図3 血管が途中で細くなっているのがよく描出されている。

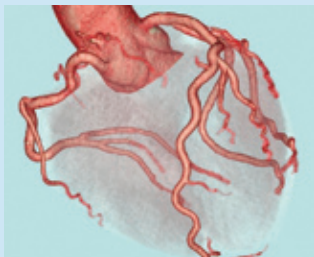


図2 心臓の血管（冠動脈）の3D画像

徳島赤十字病院の診療科をご紹介しますシリーズ「徳島赤十字病院」。今回は、高度な画像診断や放射線治療、カテーテル治療を行っている放射線科です。

さまざまな形で、赤十字活動をご支援いただきました

社会人最初の社会貢献は、赤十字の活動支援から！

阿波銀行新入行員が初任給の一部を寄付

当支部が進めている災害用移動炊飯器の配備をはじめとした災害に負けない地域づくりへの取り組みを支援しようと、株式会社阿波銀行の新入行員の皆様から、26万5千円のご寄付をいただきました。

このご寄付は今春入行した53名が、社会人となって初めて「何か社会貢献をしよう」との思いから、初任給の中から赤十字活動支援のための寄付金を

出し合い、協力いただいたものです。

4月25日に行われた贈呈式では、新入行員の代表者2名が「53人の気持ちです。災害対策にお役立てください。」と小森事務局長に寄付金を手渡しました。



寄付金を手渡す阿波銀行新入行員の代表者2名(左)

「食」を通じて、赤十字の

人道活動を毎月、支援

主力商品と自動販売機の売り上げ5%を赤十字へ寄付

若鶏の加工食品等の製造販売を行っている株式会社とり信様(大西義信社長)が、「食」を通じて社会貢献を図りたいと、同社の主力商品と自動販売機の売り上げの5%を赤十字活動支援費として「毎月」ご寄付いただいています。

昨年11月30日に行われた贈呈式では、大西社長が「会社が続く限り、終わりなき未来に向けて、毎月赤十字活



赤十字活動への支援を呼びかける看板の前で寄付金を手渡す大西社長(左)と販売店店主の堀内様(中)

創業40周年を記念し、

赤十字へ100万円の寄付

赤十字の人道活動を通じて、社会へ恩返し

日本システム開発株式会社様(金岡秀司社長)から、創業40周年を記念して、当支部へ100万円のご寄付をいただきました。

同社は1972年に創業。ソフトウェア開発や運用保守、次世代センサの研究開発、販売等を行い、人とコンピュータが融合した社会づくりに貢献されてきました。

は、金岡社長が「おかげさまで創業40周年を迎えることができました。皆様のご支援のおかげです。その感謝の気持ちを、赤十字の人道活動を通じて、社会へ恩返しさせていただきます。」と小森事務局長へ寄付金を手渡しました。



寄付金を手渡す日本システム開発の金岡秀司社長(中)と金岡恭子様(左)

あなたの赤十字活動支援費が、いのちを守る赤十字活動を支えています。

本年は「赤十字特別社員」募集強化年です。

迫りくる脅威「南海地震」に備え、救護物資や救護資器材の一層の整備が急務となっています。

今、徳島県支部では、2千円以上の赤十字活動支援費を10年以上継続して赤十字を安定的にご支援いただく「赤十字特別社員」を広く募集しています。

赤十字特別社員にご協力いただける方は、下の振込用紙(振込ご案内)の特別社員登録希望欄の「希望する」に○印をご記入のうえ、赤十字活動支援費(毎年ご協力いただける2千円以上の金額)をお振り込みください。



赤十字特別社員にご登録いただいた方には県産松製の門標(左)と特別社員章(右)をお贈りさせていただきます。

■赤十字にはこのような表彰制度があります。

表彰種別	金額	備考
日本赤十字社 銀色有功章	20万円以上	有功章と門標
日本赤十字社 金色有功章	50万円以上	
厚生労働大臣感謝状(国からの表彰)	個人 100万円以上	感謝状と記念品
紺綬褒章(国からの表彰)	個人 500万円以上	章記と褒章



■有功章(個人)門標(松製)



■金色有功章(個人)章記・賞状



■金色有功章(法人)楯(右)銀色有功章(個人・法人)楯(左)



■紺綬褒章褒章(右)褒章の記(左)

あなたも、赤十字活動支援費にご協力ください

南海トラフ巨大地震等の発生が懸念されている今日、災害救護活動をはじめとする赤十字の人道活動が停滞しないよう、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。ぜひ、この機会に下の振込用紙(振込手数料は無料、金額は任意)で、お近くの阿波銀行、徳島銀行からご協力いただければ幸いです。

※ 赤十字への寄付金は、税法上の優遇措置が適用されます。※ この振込用紙は阿波銀行・徳島銀行の本店・全支店で使用できます。

赤十字活動支援費領収証

金額	*	百万	千	円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店 徳島銀行 加茂名支店			
受取人	日本赤十字社徳島県支部			
住所・氏名	様			
取扱い店	平成 年 月 日 銀行 支店			
(法人)	この領収証記載の金額は法人税法第37条第4項の規定に基づく寄付金に該当します。			
(個人)	この領収証記載の金額は所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく特定寄付金に該当します。			

振込ご案内

金額	*	百万	千	円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店 徳島銀行 加茂名支店			
受取人	日本赤十字社徳島県支部			
住所・氏名・連絡先	〒 - 様 (TEL: - -)			
特別社員登録希望欄	希望する・希望しない			
赤十字寄付金用 上記のとおり払込を取扱いましたからご通知いたします。 平成 年 月 日 銀行 支店 コード番号				

普通預金入金票 赤十字寄付金

取扱い店	阿波銀行 鮎喰支店 (普) 0233304		平成 年 月 日	検印
金額	*	百万	千	円
受取人	徳島銀行 加茂名支店 (普) 1756682		現金	
住所・氏名・氏名	徳島市庄町3丁目12-1 日本赤十字社徳島県支部		当店券	
出納印	様		記帳	
			振替	

一 この領収証は大切に保存して下さい。
二 本票をもって日本赤十字社徳島県支部の領収証とさせていただきます。
三 右記取りまとめ店の本支店ご利用の場合は手数料免除となります。

(振込人)

(取りまとめ店→受取人)

(取扱店→取りまとめ店)



人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 スローガン

今回も人気アニメとのコラボで若年者層へ献血PR!

マチ★アソビ献血

昨年、人気アニメ「Fate/Zero」とのコラボ企画でたくさんの方に好評をいただいたイベント「マチ★アソビ献血」。

今年も5月3日から5日までの3日間、徳島市東新町の会場にて移動採血バスによる献血を行いました。

今回特別にご用意した記念品は「Fate/Zero×献血」特製ポスターとクリアファイルのセット。

当日、会場には受付開始前から行列ができ、最大約3時間の待ち時間が発生しましたが、3日間で計270名の方に献血のご協力をいただきました(移動採血バス)。

たくさんの方々のご協力、誠にありがとうございました。



プチ★アソビも盛況でした!

3月16日(土)17日(日)の両日、「マチ★アソビ」の番外編として開催された「プチ★アソビ」においても2種類のクリアファイルを用意して献血を実施。多くの方に献血にご協力いただきました。



献血回数700回目で献血卒業

2月14日、徳島県阿波市在住の佐藤正明さん(元教諭 69歳)が、県内での献血最高回数である700回目の献血をされました。2月18日に70歳の誕生日を迎えるため、「16～69歳」の年齢制限に伴い、今回で献血を“卒業”ということになりました。

佐藤さんが献血を始めたきっかけは、26歳の時に知人の手術の為に献血を行ったのが最初で、その後は毎年機会を見つけては挑戦し、1986年に成分献血が導入されてからは、月に2回のペースで成分献血を続けられました。

当日、ご家族と一緒に血液センターを訪れ、目標の700回目の献血を達成されました。終了後は沖野血液センター所長から感謝状と記念品の贈呈があり、採血を行った看護師から、花束とチョコレートのプレゼントがありました。



感謝状を受け取る佐藤さん(右から2人目)



7月は愛の血液 助け合い運動月間です

血液センターでは夏場の血液不足解消のため、毎年7月を「愛の血液助け合い運動月間」として全国的にキャンペーンを展開し、血液の安定的な供給ができるよう努めています。

この機会にぜひ、400mL献血へのご協力をお願いいたします。

また、下記の移動採血車で献血にご協力いただいた方には、粗品をご用意いたしておりますので、皆様のご協力をお待ちしております。

平成25年7月6日(土) ㈱マルナカ徳島店

平成25年7月21日(日) ゆめタウン徳島

平成25年7月27日(土) フジグラン北島

詳細は徳島県赤十字血液センターホームページをご覧ください。

<http://www.tokushima.bc.jrc.or.jp/>

夏場の献血にご協力をお願いします!



問診判断基準が緩和されました — 服薬について —

平成25年4月1日から、これまで献血をご遠慮いただいていた複数剤の降圧剤を服用している方についても、献血いただけるようになりました。(血圧が安定している場合)これまでご協力いただけなかった方もぜひ、この機会にご協力よろしくお願いいたします。

よくあるご質問

Q.服薬していると献血は出来ないのでしょうか?

A.以下のお薬については、献血当日に服用されている場合でも、原則として献血にご協力いただけます。ただし、献血にご協力いただけるか否かの判断は、お薬の種類だけでなく、ご本人の体調、服薬目的、症状等を考慮して、検診医が最終的な判断を行いますので、ご理解下さい。

- ①健康増進のためのサプリメント(ビタミン剤、ミネラル剤など)※貧血治療中を除きます。
- ②胃腸薬 ※感染性下痢症状がある場合を除きます。



- ③降圧薬 ※血圧がほぼ正常域にコントロールされている場合。
- ④漢方薬 ※肝疾患、感冒、喘息等のために服用されている場合を除きます。
- ⑤高脂血症治療薬 ※一部の治療薬を除きます。
- ⑥アレルギー治療薬 ※一部の治療薬を除きます。喘息のために服用されている場合は症状により判断させていただきます。
- ⑦少量の女性ホルモン・避妊薬(ピル)※更年期障害や月経困難症等の補充療法に服用されている場合には献血いただけますが、緊急ピルの場合は除きます。
- ⑧局所投与の薬物(点鼻薬、点眼薬、塗り薬、貼り薬)※広範囲に使用されたり、感染症による場合を除きます。
- ⑨抗潰瘍薬 ※潰瘍予防薬として服用された場合。
- ⑩緩下剤

<日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します>

・日本赤十字社徳島県支部事務局 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-6000 ・徳島赤十字病院 小松島市小松島町字井利ノ口103 TEL:0885-32-2555
・徳島赤十字ひのみね総合療育センター 小松島市中田町新開4-1 TEL:0885-32-0903 ・徳島県赤十字血液センター 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-3200
・徳島赤十字乳児院 小松島市中田町新開2-2 TEL:0885-32-0555